

四旬節第一主日 2021年02月21日 「一緒に祈りましょう！」

皆様、

主の希望、信頼、平和のうちに、信仰はわたしたちの盾です。

02月21日は、「**四旬節第一主日B**」です。

今日、皆さんと一緒に心をあわせて、祈りましょう。

時間がある時は、一本のろうそくをつけて、沈黙し、十字架のしるしをゆっくり行いましょう。

「聖書と典礼2021.02.21」をお持ちであれば、その流れに従って、次にあるコメントを自由にお使い下さい、少なくとも、聖書を開いて、第一朗読 創世記9.8-15と、「答唱詩編」25 (24)、第二朗読 使徒ペトロの第一手紙 3.18-22と、マルコによる福音1章 12-15節を読み、個人的に黙想し、神のみ言葉についての分かち合い / 共同祈願を行いましょう。

コメント アントワン神父

I- 第一朗読 創世記 9.8-15 について

ノアは 「神の目で正しい人」と「神との契約を結ぶ人」を象徴します。「契約を立てる」という言葉がこの短い個所に6回出て来ます。神とノアとの契約と神とアブラハムとの契約の違いは、神とアブラハムとの契約は、「信仰による子孫の契約」です(創世記12+15)。神とノアとの契約は、「正しさによる赦しの契約」です。

II- 「答唱詩編」25 (24) について

神に向かってへりくだる信徒の祈りの詩編です。信徒は自分の弱さ、貧しさ、過ちを認めて神の道を歩むように願います。

「主(イエス)は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです。」(2コリント8.9)。

「心の貧しい(へりくだる)人々は、幸いである。天の国はその人たちのものである。」(マタイ5.3)

この詩編を祈りながら自分自身のためだけではなく、教会、共同体、社会のために祈りましょう。

III- 第二朗読 使徒ペトロの第一手紙 3.18-22 について

使徒ペトロは、私たちが洗礼によりノアと同じように罪から解放されたことを伝えます。まして、洗礼は「肉の汚れを取り除くことではなくて」(罪の洗濯機ではなく)、復活されたイエスの救いにより正しい良心の道を守る契約だと教えます。

IV- マルコによる福音1章 12-15 節 について

「(聖)霊はイエスを荒れ野に送り出した。イエスは四十日間そこにとどまり(ました)。」

「40」という数字は聖書のいろいろな個所に繋がっています。

- 1- ノアと洪水の物語を見ましょう。四十日間は、大雨が降って「地の面から罪が消え去る」ための期間だと言われています。(創世記6-9)
- 2- 四十年間は、エジプトの奴隷の状況から解放された神の民が荒れ野で生活し、約束された国に迎え入れられるまでの準備の期間です。それは、誘惑の長い期間でした。エジプトでは奴隷という状況でしたが、仕事も、家も、水も、食物も、足りないことがありませんでした。しかし、荒れ野での生活は、自由で、豊かな国の約束がありましたが、苦しい日常生活でした。仕事も、家も、水も、食物も、足りませんでした。さて、どちらの生活の方が良かったのでしょうか。奴隷だが楽な生活を取るか、自由だが苦しい生活を取るか。家族を持つ人にとって、これは難しい選択だったでしょう。(出エジプト記16. 35)
- 3- 四十日間は、シナイ山でモーセが神の掟を受けるために待つ期間でした。(出エジプト記24. 18)
- 4- また、オレブの山で預言者エリヤが神と出会うための準備期間でもありました。(列王記上19)
- 5- 四十日間イエスは荒れ野で悪魔の誘惑を受け、それを退けました。それは、福音を述べ伝え始める前に、自分の思い、言葉、行い、心や体を準備する期間でした。
- 6- そして、そこから四旬節は始まりました。四旬節とはイエスが復活し、私たちと共に生きているという良い知らせを迎えるための四十日間の準備期間なのです。イエスと同じように私たちも聖霊の働きの下に四十日間の日常生活の中で、思い、言葉、行い、心や体の良い準備をしましょう。

この期間は「車の点検」、「健康診断」など日常生活の点検期間と同様に「信仰診断」の期間といえます。

(沈黙、分ち合いか/共同祈願か)

次に、祈りましょう。(ミサの集会祈願)

「慈しみ深い神よ、あなたはすべての人を神の国の喜びへと招いておられます。四旬節の初めにあたり、わたしたちに、キリストの死と復活の神秘を深く悟らせて下さい。日々、キリストの命に生きることが出来ますように。

聖霊の交わりのなかで、あなたとともに世に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。」

最後に 十字架のしるしをゆっくり行いましょう。「父である神様に感謝」。

新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈りを一緒に祈りましょう。(別紙)

新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り

いつくしみ深い神よ、
新型コロナウイルスの感染拡大によって、
今、大きな困難の中にある世界を顧みてください。

病に苦しむ人に必要な医療が施され、
感染の終息に向けて取り組むすべての人、
医療従事者、病者に寄り添う人の健康が守られますように。

亡くなった人が永遠のみ国に迎え入れられ、
尽きることのない安らぎに満たされますように。
不安と混乱に直面しているすべての人に、
支援の手が差し伸べられますように。

希望の源である神よ、
わたしたちが感染拡大を防ぐための犠牲を惜しまず、
世界のすべての人と助け合って、
この危機を乗り越えることができるようお導きください。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

希望と慰めのよりどころである聖マリア、
苦難のうちにあるわたしたちのためにお祈りください。

(2020年4月3日 日本カトリック司教協議会認可)

Prayer for the World Suffering from the New Coronavirus Pandemic

O loving God,
Look kindly upon the world, now in great difficulty
Through the spread of the new coronavirus.
May necessary medical care be given to those who suffer from the
disease.
Guide those who work toward ending the infection.
Protect all healthcare workers and all those who care for the sick.
Welcome the deceased into your eternal kingdom.
Fill them with everlasting peace.
May hands reach out to help everyone facing anxiety and confusion.
God, the source of hope,
Guide us in this crisis
That we may spare no sacrifice to prevent the spread of the infection,
That we may serve everyone in the world,
We ask this through our Lord Jesus Christ. Amen.
Mary, source of hope and comfort, Pray for us in this hardship.

(Approved by the Catholic Bishops' Conference of Japan, April 3, 2020)